

頰肩腕痛の治療のポイント

児玉整形外科クリニック
柳井谷深志

2023年11月19日 遠絡統合医学会リフレッシャーコース

1

本日の講義

1. 7つの治療手技の整理
2. 頰肩腕痛の治療のポイント

2

1. 7つの治療手技の整理

1. 連接
2. 相補
3. 相克
4. 補強
5. 増流処置
6. 牽引瀉法
7. 督脈治療

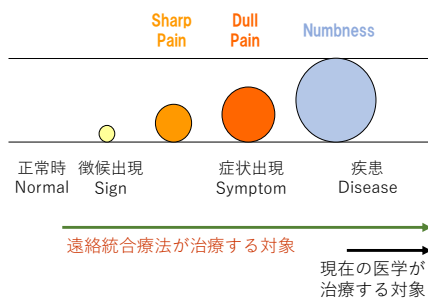
3

1. 7つの治療手技の目的

1. 連接：障害物を取り除く
2. 相補：フローの幅を拡張する
3. 相克：頑固な障害物を破壊する
4. 補強：フローを補強する
5. 増流処置：フローの流量を増やす
6. 牽引瀉法：フローの流速を速める
7. 督脈治療：炎症蓄積の除去（中和？）

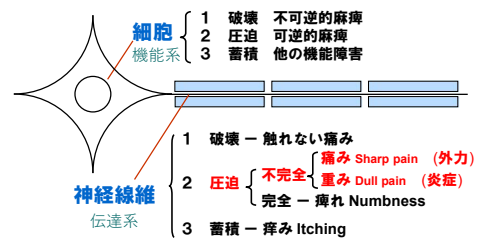
4

病態のイメージ

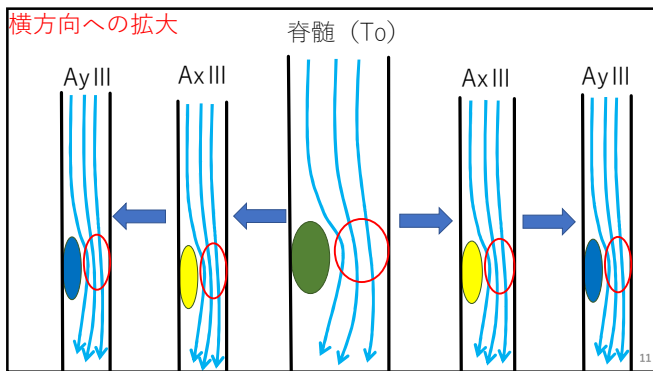
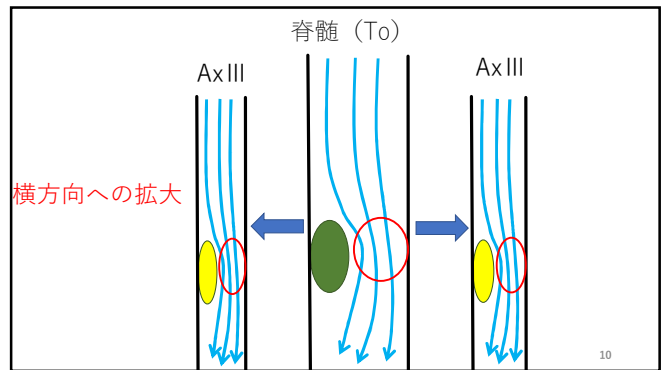
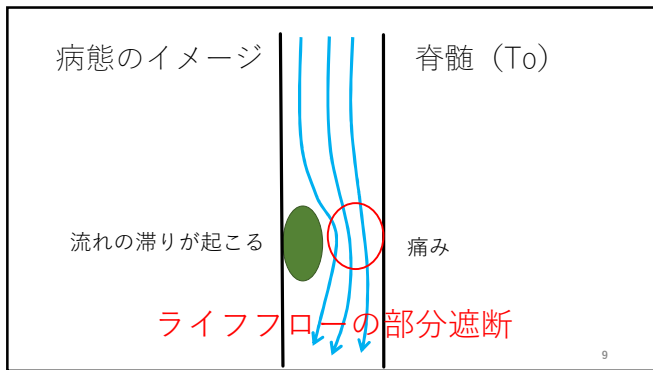
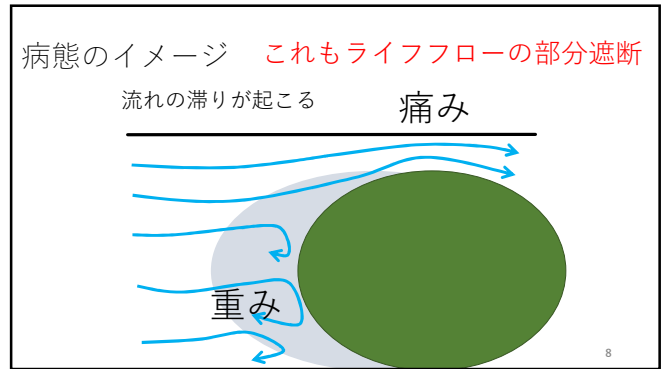
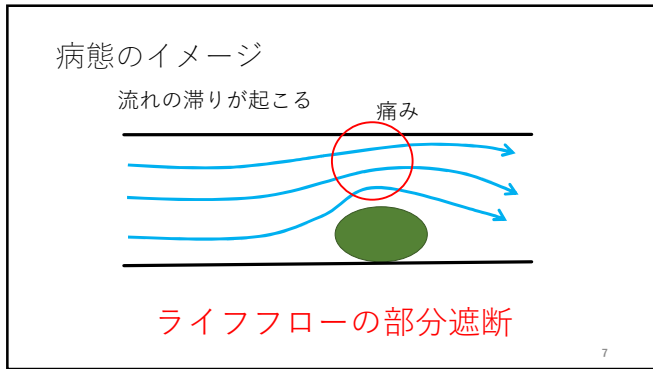


5

細胞と神経線維の症状内容（分類）



6



<症状とラインの状態>

痛み：A δ 線維
(いわゆる痛みでライフフローの不完全遮断で発生)

重み：c線維
(温める・マッサージを好む、いわゆるこり遮断された上流に発生)

しびれ：A β 線維
(遮断されたライフフローの下流に発生)

触れない痛み：神経線維の破壊に伴って発生、断線して放電している状態

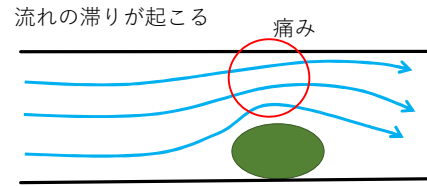
12

1. 7つの治療手技の目的

1. 接続：痛み治療 A δ 繊維
2. 相補：重みの治療 c 線維
3. 相克：痛み治療の補助
4. 補強：しびれと神経線維の回復 A β 繊維
5. 増流処置：ライン全体の流れを増幅
6. 牽引瀉法：ライン全体への流速を増強
7. 督脈治療：下位脳+脊髄の治療

13

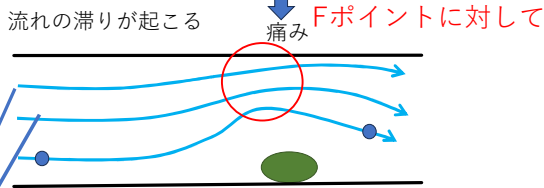
病態のイメージ



ライフフローの部分遮断

14

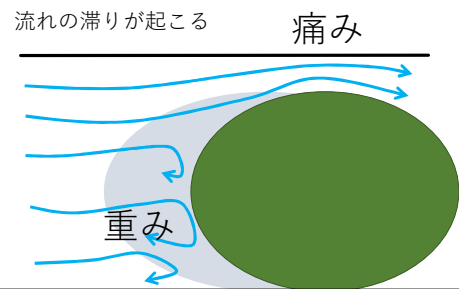
接続のイメージ



他の正常ラインへバイパスする
障害物がたまらなくなり痛みが消失

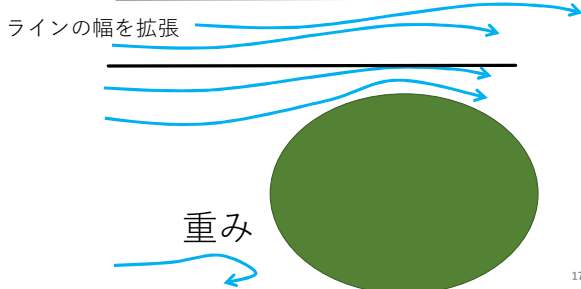
15

病態のイメージ これもライフフローの部分遮断



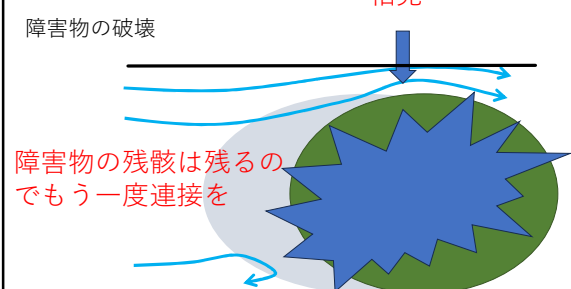
16

相補のイメージ

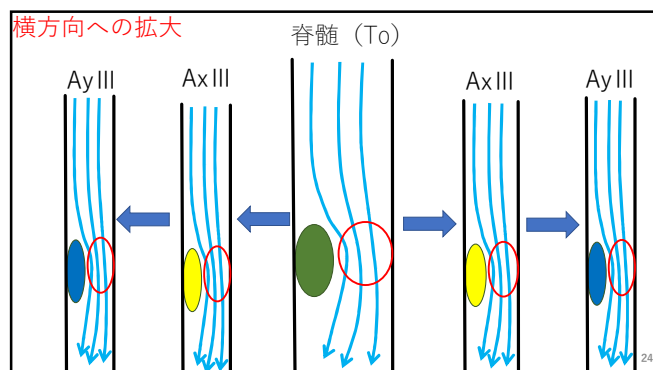
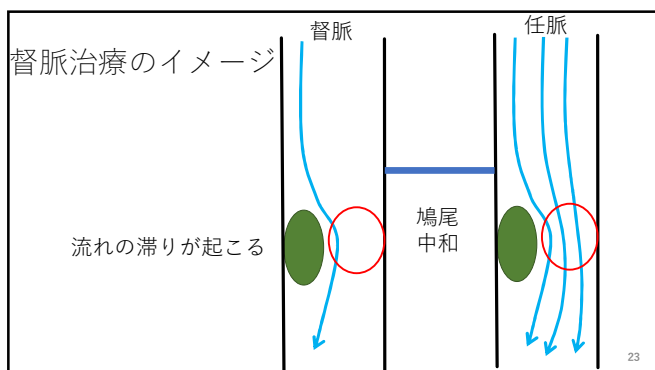
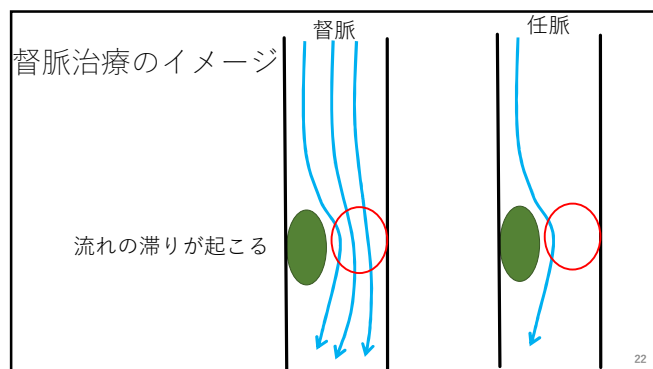
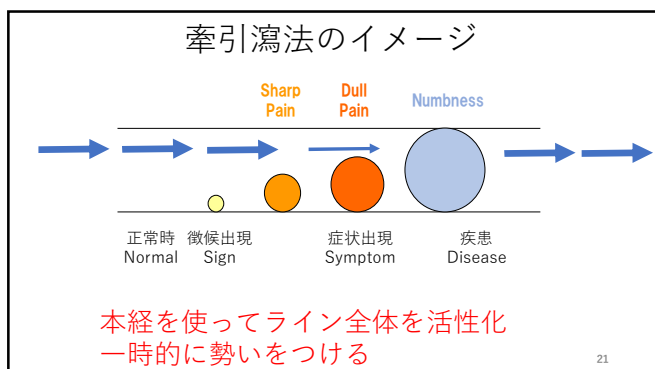
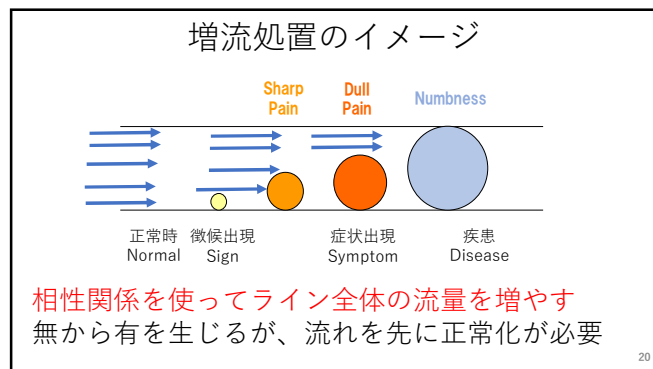
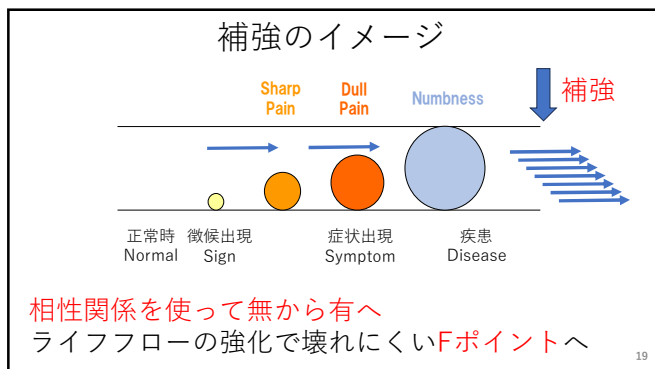


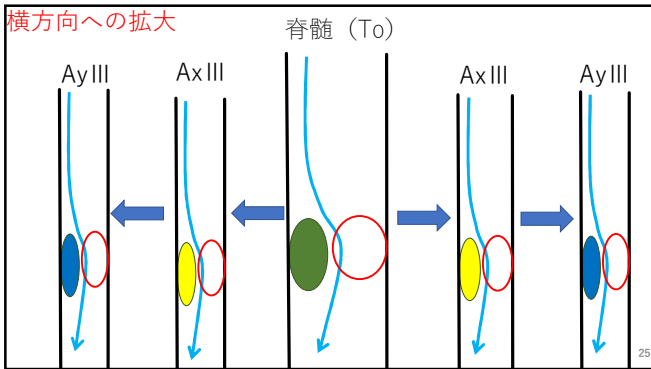
17

相克のイメージ



18





1. 7つの治療手技の分類
1. 接続 : 瀉法
 2. 相補 : 補法
 3. 相克 : 補法
 4. 補強 : 補法
 5. 増流処置 : 瀉法
 6. 牽引瀉法 : 瀉法
 7. 督脈治療 : 深圧
- 26

1. 7つの治療手技の分類
1. 接続 : 瀉法 子午流注
 2. 相補 : 補法 陰陽六行図
 3. 相克 : 補法 陰陽六行図
 4. 補強 : 補法 陰陽六行図
 5. 増流処置 : 瀉法 陰陽六行図
 6. 牽引瀉法 : 瀉法 本経治療
 7. 督脈治療 : 深圧 奇脈
- 27

1. 7つの治療手技の陰陽
1. 接続 : 陽または陰
 2. 相補 : 陰
 3. 相克 : 陰
 4. 補強 : 陰
 5. 増流処置 : 陽
 6. 牽引瀉法 : 陽
 7. 督脈治療 : 陰 (任脈)
- 28

12ライン

～表記の解説～

陰と陽
隠れやすい内側になるエリア
が陰とされている
または、奥が陰とされる
⇒ X

表面にさらされやすい外側になる
エリアが陽とされている
⇒ y

29

12ライン

治療ポイント選択

陰と陽
隠れやすい内側になるエリア
が陰とされている
または、奥が陰とされる
⇒ X Fポイントとして治療しやすい

表面にさらされやすい外側になる
エリアが陽とされている
⇒ y 全体調整に適する

30

1. 7つの治療手技のCポイント

1. 接続 : 有または無
2. 相補 : 有
3. 相克 : 有
4. 補強 : 有または無
5. 増流処置 : 有または無
6. 牽引瀉法 : 有または無
7. 督脈治療 : 有

31

1. 7つの治療手技の対象

1. 接続 : 固有点
2. 相補 : 固有点
3. 相克 : 固有点
4. 補強 : 固有点
5. 増流処置 : ライン全体
6. 牽引瀉法 : ライン全体
7. 督脈治療 : 固有点

32

1. 7つの治療手技の整理

1. 接続
2. 相補
3. 相克
4. 補強
5. 増流処置
6. 牽引瀉法
7. 督脈治療

33

1. 7つの治療手技 r A Y III / c

1. 接続 : ITx I /1:c
2. 相補 : IAx I /b:(c)
3. 相克 : IAx II /2:(c)
4. 補強 : ITx II /2:(c), rTx III /1:(c)
5. 増流処置 : rTy II /0:6, rTy III /0:6
6. 牽引瀉法 : rAy III /0:3!
7. 督脈治療 : アトラスの治療Ni/鳩尾 : c

34

本日の講義

1. 7つの治療手技の整理

2. 頸肩腕痛の治療のポイント

35

頸肩腕痛 (渡辺先生のカテゴリー)

原因	症状
副神経	両側、肩関節痛無し (相当進行してから出現)、筋力低下が関与
SC脊髄 (c+a)	片側 (→両側)、横点の痛み、肩関節痛、縦区の痛み
SN脊髄神経 1	片側、Ay III 2ラインの痛み、Ay II の痛み無し
SN脊髄神経 2	片側、Ay III → Ay II → Ty II → Ty III と五行に沿った痛み、Ay II の痛みあり
区域性	Ty III の横+縦の痛み、Ty I (Ty I 全体的症状はまず区域で考える)
頸肩痛	Ay II

36

処方式
rAyIII/bc+c+a

治療式
ITx I /1:bc+c+a

治療ポイントの
集合がライン

37

F-pointの対応点

aレベル：頸、肩、手首、股、足首

cレベル：脳、首、肩、手足の付け根、移行部、坐骨部、アトラス、L2/3

dレベル：頭一大脳皮質、顔面、手足末梢の指、尾骨部、会陰

bcレベル：脳幹部、頭部（髪の毛が生えているところ）
肩甲骨、仙腸関節、胸部、下腹部

38

処方式
rAyIII/bc+c+a

治療式
ITx I /1:bc+c+a

技法を考えよう！

39

技法を考えよう！

ITx I /1:c
瀉A,B,C
どれが望ましい？
答え 瀉A

40

技法を考えよう！

ベクトルの向き
ベクトルの力
ベクトルの作用点
の3つを常に意識

41

技法でライフフローを整える

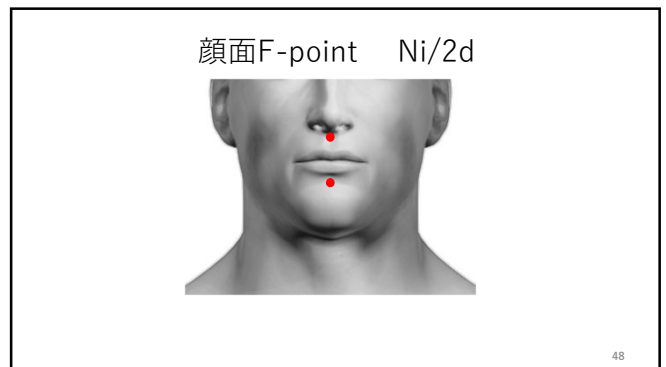
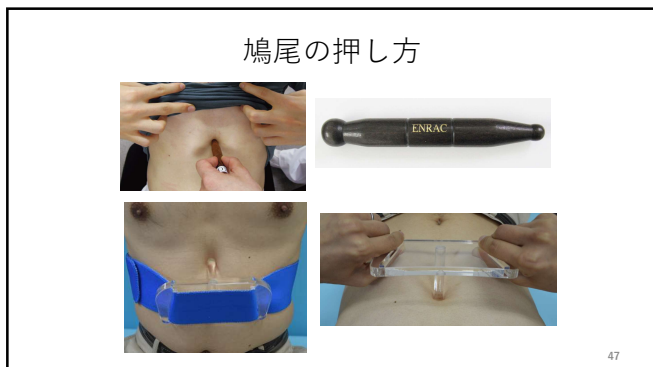
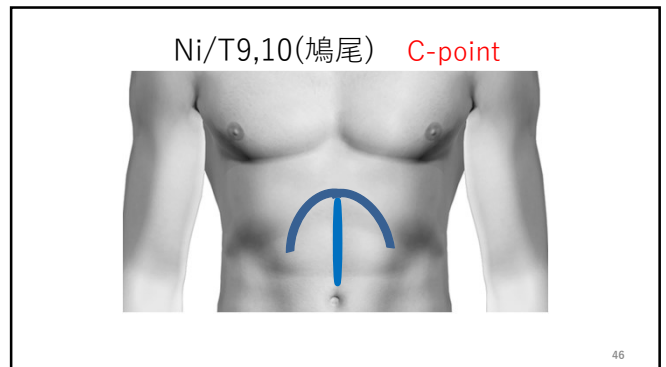
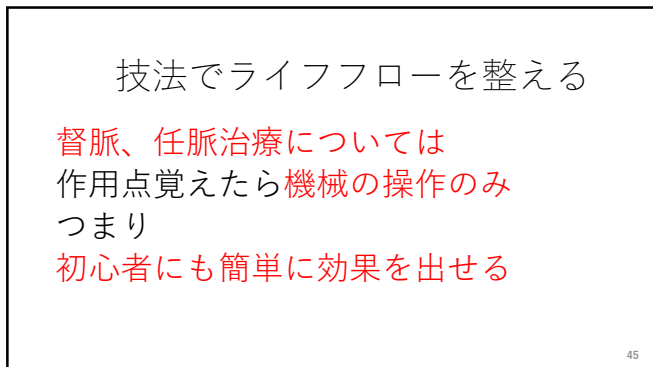
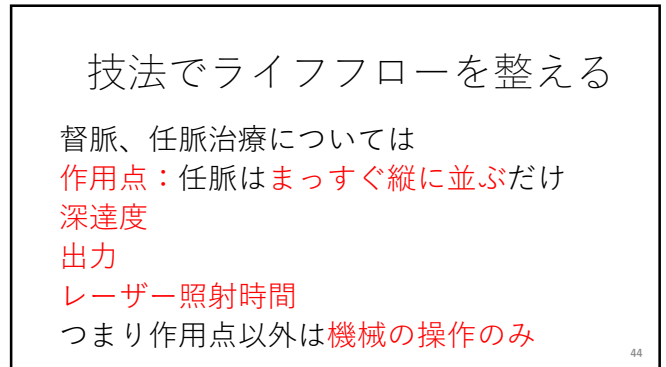
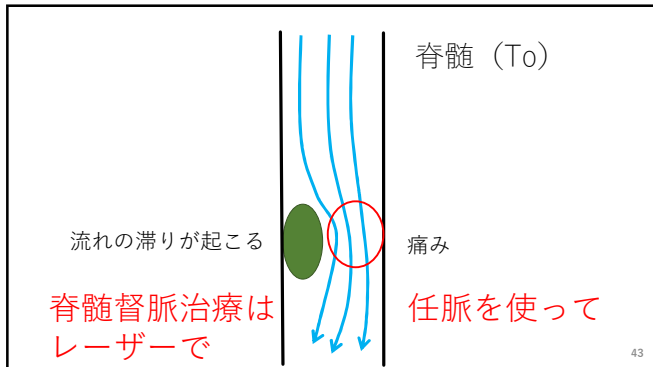
手足にある24ラインに対しては

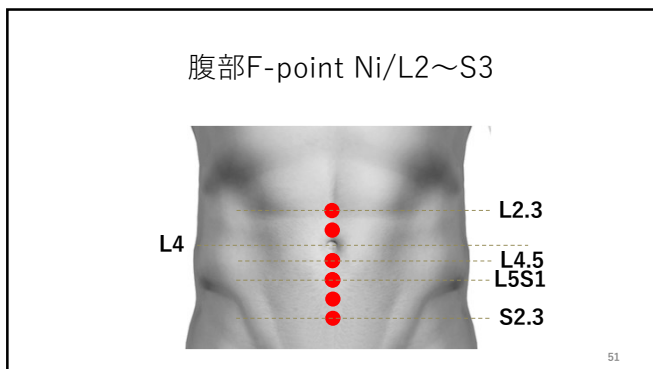
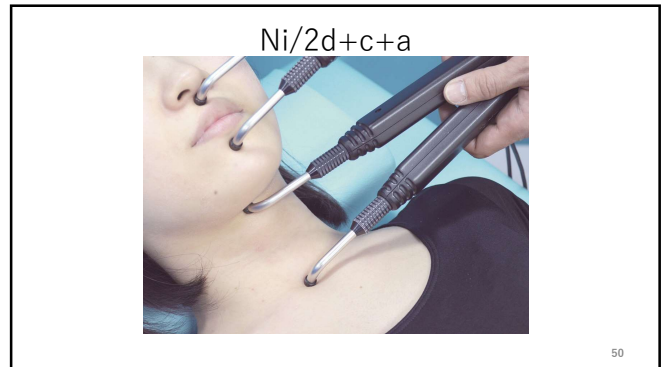
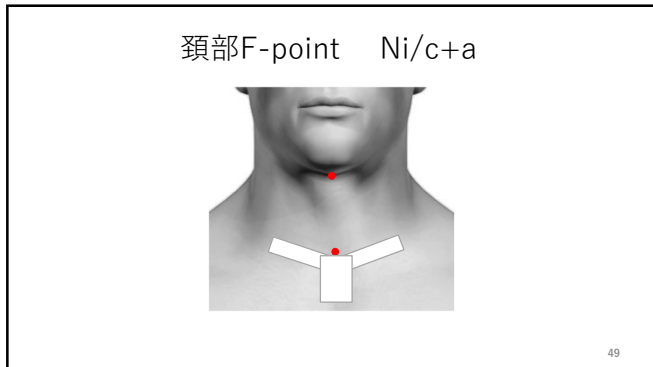
ベクトルの方向
ベクトルの力
ベクトルの作用点で考えましょう。

つまり

ラインの走行の知識が必須：経験必要

42



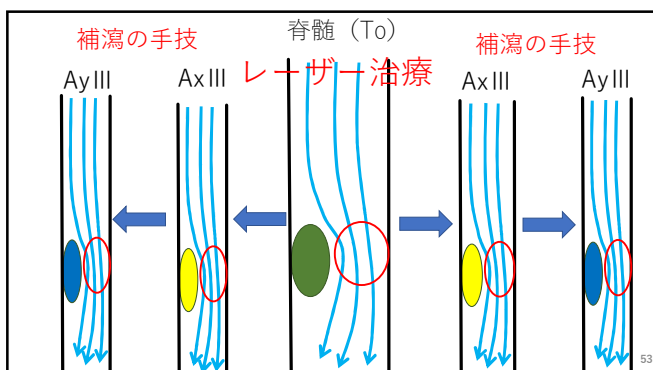


手足顔の痛みはすべて脊髄が関与し、
視床が脊髄をコントロールしている。

視床 ⇄ 脊髄視床路 ⇄ 脊髄
(3次ニューロン) (2次ニューロン)

視床 b c はレーザー治療のみでは不十分
丁寧にAIIIの b c の治療が必要です。
とはいつてもアトラス治療が最も大事です。

52



頰肩腕痛はまず標準治療

督脈治療：2d+c+a
A x III/bc+c+a/bc+c+a
A y III/bc+c+a/bc+c+a

54

標準治療+ α ：副神経

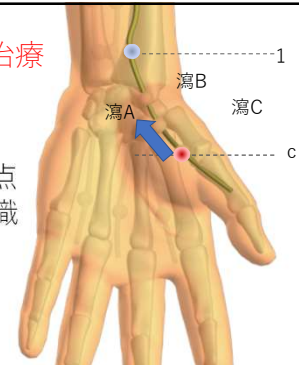
技法

アトラスの炎症が延髄に拡大
アトラスの治療を丁寧に時間をかけて
行いましょう。

55

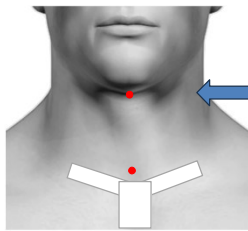
アトラスを徹底治療

ベクトルの向き
ベクトルの力
ベクトルの作用点
の3つを常に意識
3段階の深さ
(天・人・地)
細かく丁寧に



56

頸部F-point Ni/c+a



照射時間の延長
方向のズレは？
患者さんはよく動
きます。

57

標準治療+ α ：副神経

語法

長時間の下向きが痛みの原因になります。
10分に1回、首を持ち上げましょう。
神経の回復に酸素は必要です。
深呼吸で10分おきにリセットしましょう。

58

標準治療+ α ：脊髄

語法

下向き、前かがみ作業が脊髄の炎症の原因
になります。
10分ごとに首と体を起こして
深呼吸をしましょう。

前かがみは股関節を支点到に腰椎前弯維持。

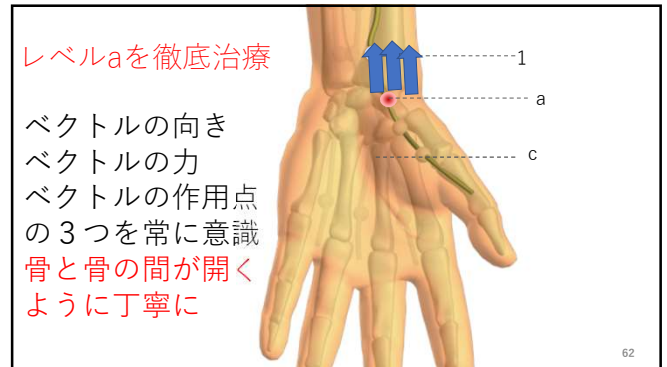
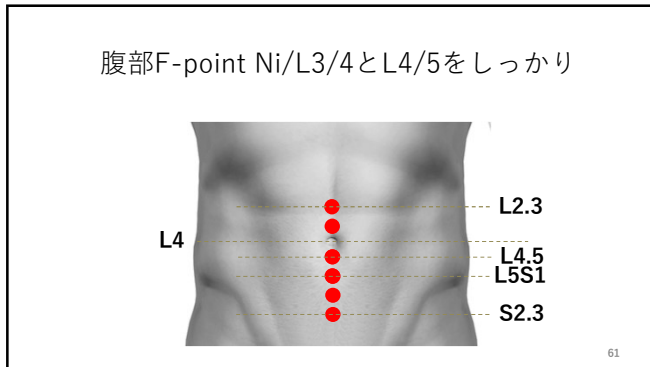
59

標準治療+ α ：脊髄

技法

脊髄の炎症が遷延
脊髄の治療を丁寧に時間をかけて行いま
しょう。
肩関節の可動域障害があれば+腰椎治療

60



標準治療+ α : 脊髄神経、区域、Ay II

技法
Ay II の治療を加えましょう。
Ay III を丁寧に治療しましょう。
Ay III の臓腑通治とTy I の表裏はTx I です。
Ay II の臓腑通治とTy III の表裏はTx III です。

63

標準治療+ α : 脊髄神経、区域、Ay II

語法
左右バランスが整っている方が健康
重力で猫背になり神経の出口を狭める
神経の出口の隙間を広げましょう。

64

姿勢と運動でライフフローを整える

もともと美しいS字カーブならライフフローの乱れは生じにくい。

生命のエネルギーは有酸素化で大きくなる。

遠絡統合療法の究極目標はエネルギーを増やすことである。

65

姿勢と運動でライフフローを整える

1. 美しいS字カーブを指導
2. 腹式呼吸で美しい姿勢にリセット
3. 10分に1回深呼吸で、絶えず十分なエネルギーを作る。
4. 上肢挙上で左右バランスを整えAy II ラインを十分伸ばして、更にエネルギー増やす。


66

腹式呼吸

1. 顎を上げる
2. 鼻から吸う
3. 下腹部を膨らませる

↓

S字状カーブ完成
c+a領域の前弯と
b c領域の後弯

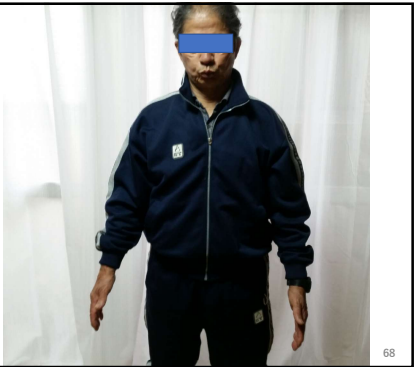


67

腹式呼吸

1. 顎を下げる
2. 口から吐く
3. 下腹部をへこませ息を吐ききる

腹横筋を刺激



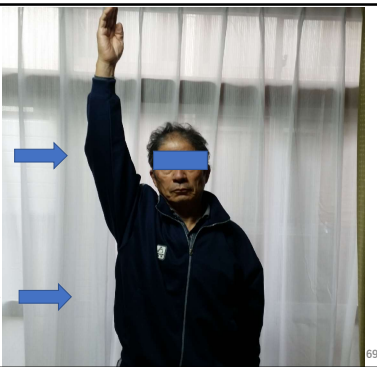
68

上肢挙上

手を挙げてもらう

肘が伸びていない →


脇腹も伸びていない →



69

肘と脇腹を意識して
挙げてもらう
b c領域を意識
肘が伸びている →

脇腹も伸びている
Ay II ラインを意識 →



70

健康のために大事なこと

1. 姿勢
2. 酸素

71

その対策は

1. 10分に1回深呼吸
2. 1時間に1回片方ずつ上肢挙上

72

本日の講義

1. 7つの治療手技の整理
2. 頸肩腕痛の治療のポイント

73

ご清聴ありがとうございました。